

環創み第968号
令和3年10月18日

各自治会・町内会長様

横浜市環境創造局
みどりアップ推進課長 坂井 和洋
横浜市財政局
税務課長 渡邊 勝明

横浜みどりアップ計画[2019-2023] 2020年度実績概要版リーフレット作成のご報告について

横浜みどりアップ計画につきましては、平成21年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、推進しています。令和元年4月からは3期目となる5か年計画に取り組んでいるところです。

このたび、2020年度を振り返り、取組の成果を事業報告書にまとめましたのでご報告いたします。報告書は、公共施設等で閲覧ができます。また、概要版のリーフレットと、横浜みどり税のチラシについては、市連会及び区連会での説明後に、単位自治会町内会長あてに送付させていただきます。

今後も、「横浜みどりアップ計画」を着実に推進してまいりますので、御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

【配布資料】

- 1 横浜みどりアップ計画[2019-2023]
2020年度の実績概要版リーフレット【別紙1】
- 2 横浜みどり税のチラシ【別紙2】
- 3 【参考資料】2020年度区別実績【別紙3】



【別紙1】



【別紙2】

*別紙1「2020年度の実績概要版リーフレット」及び別紙2「横浜みどり税のチラシ」については、例年、各自治会・町内会の皆様へ班回覧をお願いしておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、昨年度から回覧を見合わせています。PRボックス、市役所及び区役所の窓口等への配架は例年通り行います。

【問合せ】

- 横浜みどりアップ計画の実績に関すること
環境創造局みどりアップ推進課 TEL:671-2712 FAX:224-6627
- 横浜みどりアップ計画に関すること
環境創造局政策課 TEL:671-4214 FAX:550-4093
- 横浜みどり税に関すること
財政局税務課 TEL:671-2253 FAX:641-2775

市民の皆様の参加をお待ちしています！
みどりアップを体感しよう

横浜みどりアップ計画では、市民の皆様に緑を身近に感じていただけるよう、緑にふれる空間づくりやイベント開催を多数行っています。また、市民の皆様の緑や花を守り増やす取組をサポートする制度を設けています。ぜひ皆様も緑にふれ、横浜のみどりアップを体感してください。

みどりアップを楽しもう！
イベント・体験のスポットをご紹介します

詳しくはHPをご覧ください



ほかにも、18区役所で様々な取組を行っています



◆◆◆◆ 森にふれる ◆◆◆◆

散歩など森にふれる
 イベントやスポット
 ウェルカムセンター(5か所)
 市民の森/ふれあいの樹林など
 市民の森ガイドマップ/森づくり体験会



◆◆◆◆ 農にふれる ◆◆◆◆

農畜産物の直売など農にふれる
 イベントやスポット
 収穫体験農園/市民農園
 直売所/マルシェ
 よこはま地産地消サポート店



◆◆◆◆ 緑や花にふれる ◆◆◆◆

まち歩きなど緑や花にふれる
 イベントやスポット
 花の見どころカレンダー/ガーデンネック
 レス横浜/里山ガーデンフェスタ
 都心臨海部等の緑花



みどりアップの活動に参加しよう！
市民の皆様が活用できる制度を一部ご紹介します

詳しくはHPをご覧ください



制度名	制度内容	募集時期	
団体・個人向け	① 地域緑のまちづくり	地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街で緑を創出する計画をつくり、市と協働で緑化を進めます(費用助成あり)	4~6月
	② 人生記念樹の配布	出生、入学、還暦などの人生の節目を記念して、市内で生産された苗木を無料で配布(年2回)します	通年
	③ 名木古木の保存	古くから親しまれてきた故事、来歴などのある樹木を指定して所有者の維持管理を費用助成などで支援します	例年1月末まで
	④ 森づくり活動団体への支援	市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に森づくりに必要なサポート(専門家派遣など)を行います	お問合せください
	⑤ 森づくりボランティア	森づくり活動団体が市と協働で行っている、市内の森を育む体験会や研修会に参加できます。	登録は通年
事業者・学校等向け	⑥ 地産地消ビジネス創出支援事業	地産地消に関するビジネスプランをつくる講座を開催し、選定された事業に対して費用を補助します	11月(予定)
	⑦ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	園庭・校庭の芝生化やビオトープの整備、花壇づくり、屋上緑化などの費用助成や技術サポートを行います	例年1月末まで
	⑧ 公開性のある緑空間の創出支援	多くの人が訪れる市街化区域の民有地で、公開性のある緑化などを行う事業者などに対し費用を助成します	例年1月末まで

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめているほか、広報誌「みどりアップAction」を発行しています。

詳しくはHPをご覧ください



「みどりアップAction」

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」について
 環境創造局政策課
 TEL.045-671-4214
 FAX.045-550-4093

「横浜みどりアップ計画」の各事業について
 環境創造局みどりアップ推進課
 TEL.045-671-2712
 FAX.045-224-6627

「横浜みどり税」について
 各区役所税務課または 財政局税務課
 TEL.045-671-2253
 FAX.045-641-2775
 ※「法人市民税」は財務局法人課税課
 TEL.045-671-4481
 FAX.045-210-0481



実績報告書はHPをご覧ください
 区ごとの実績もご覧いただけます

横浜みどりアップ計画

横浜みどり税を財源の一部に活用

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

2020(令和2)年度の実績 概要版



森を育む

横浜の緑、育っています！

農を感じる場をつくる

緑や花をつくる

市庁舎での市内産農畜産物等の販売(中区)

家族で学ぶ農体験講座(保土ケ谷区)

奈良町の水田(青葉区)

日本大通り(中区)

里山ガーデン(旭区)

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を進めています。このリーフレットは、2020(令和2)年度に実施した事業の実績を、概要としてまとめたものです。





計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地の保全

- ・緑地保全制度に基づく指定により樹林地の保全が進展(28.9ha)
- ・相続など、不測の事態に対応した樹林地の買取り(18.9ha)

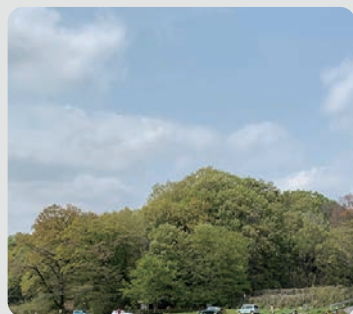
緑地保全制度による指定の実績

これまでのみどりアップ計画
(2009～2019年度)

11年間 **952ha**

みどりアップ計画以前
(1969～2008年度)

40年間 **861ha**



寺家町居谷戸特別緑地保全地区(青葉区)



長津田町長月特別緑地保全地区(緑区)

良好な森の育成

- ・愛護会などと連携して維持管理を実施(200か所)
- ・指定した樹林地で土地所有者が行う維持管理を支援(162件)



保全管理計画策定の様子
(上矢部ふれあいの樹林/戸塚区)



維持管理を実施した樹林地
(称名寺市民の森/金沢区)

森に関わるきっかけづくり・人材育成

- ・森づくり活動の体験会などを実施(研修9回、体験会7回)
- ・各区で森に関わるイベントを開催



森づくり体験会(緑区)



間伐材を活用した樹名板の取付け(南区)



計画の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる

農景観の保全

- ・貴重な農景観である水田を保全(113.3ha)
- ・まとまりのある農地を良好に維持する活動への支援(643.9ha)や、遊休農地の復元支援(0.28ha)



保全された水田(瀬谷区)



農地縁辺部への植栽(泉区)



復元前



復元後

地産地消の推進

- ・直売所や加工所に必要な設備の導入支援(18件)
- ・青空市やマルシェの開催などへの支援(23件)
- ・人材の育成・企業との連携の推進



戸塚区地産地消PR・直売コーナー
(戸塚区)



はまふうどコンシェルジュ活動支援
(保土ヶ谷区)

農にふれあう機会の創出

- ・食と農への関心や、農とのふれあいを求める様々な市民ニーズに合わせた農園の開設などの支援(3.98ha)
- ・市民が農を楽しむ体験教室(50回)、農体験講座(6回)



認定市民菜園(青葉区)



収穫体験農園(神奈川区)



計画の柱3

市民が実感できる緑や花をつくる

まちなかでの緑の創出・育成

- ・公共施設などでの緑の創出(12か所)、育成(50か所)
- ・地域で古くから親しまれている名木古木を指定(28本)、維持管理の助成(73本)



公共施設等での緑の創出
(下和泉地区センター/泉区)



公共施設等での緑の創出
(市立脳卒中・神経脊椎
センター/磯子区)



名木古木の指定
(鶴見区)

緑や花による賑わいづくり

- ・都心臨海部などの多くの市民が訪れる場所において、緑や花による空間づくりや質の高い維持管理を集中的に展開(15か所)



久良岐公園(港南区)



キングモール橋(西区)

市民や企業と連携した緑のまちづくり

- ・地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、実現していくための取組「地域みどりのまちづくり」を市と協働で実施(新規4地区、継続9地区)
- ・緑や花を身近に感じる取組を各区で実施



地域緑のまちづくり(港北区)



花壇の寄せ植えイベント(青葉区)

子どもを育てる空間での緑の創出・育成

- ・園庭・校庭の芝生化や、学校でのビオトープなどの整備(創出41か所、維持管理120か所)



保育園での緑の創出・育成(旭区)



小学校での緑の創出・育成(栄区)

効果的な広報の展開

取組の内容や実績について、より多くの皆様に知っていただくよう、積極的な広報を展開

- 広報よこはまへの記事掲載
- 実績リーフレットの配布
- 取組のプロモーション動画放映
- 鉄道への交通広告
- 取組の実施箇所への現地表示看板の設置
- メールマガジンやSNSによる情報発信



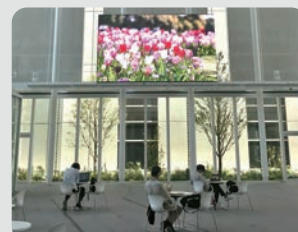
広報よこはまへの取組実績の記事掲載



市庁舎デジタルサイネージでの動画放映



線路沿いでの現地表示看板の設置

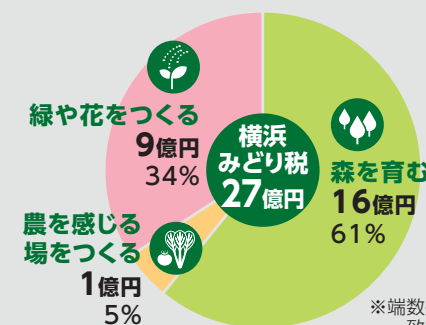


横浜市役所アトリウムでの動画放映

計画の事業費と横浜みどり税

2020(令和2)年度の事業費92億円のうち、横浜みどり税を27億円分充当し活用させていただきました。

計画の柱ごとの活用額



横浜みどり税の使い道

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税の課税方式

- 【個人】市民税の均等割に年間900円を上乗せ
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く
- 【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額

※各イベントについては、感染症への対策をとりながら実施しました

横浜みどり税

「横浜みどり税」は
「横浜みどりアップ計画」を進めていくために
ご負担いただいています。

緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは重要な課題です。また、緑は一度失われると取り戻すことが困難です。

横浜市では、緑を守り、つくり、育む取組を進める「横浜みどりアップ計画」の重要な財源の一部として、平成21年度から市民の皆様にご負担いただいています。

いただいた「横浜みどり税」は、樹林地・農地の確実な担保、身近な緑化の推進などに活用しています。

横浜みどり税の
税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和5年度までです。

横浜みどり税の
使いみち

- 1 樹林地・農地の確実な担保
- 2 身近な緑化の推進
- 3 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- 4 ボランティアなど市民参画の促進につながる事業



横浜みどりアップ **葉っぴー**

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

横浜みどりアップ計画



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜



5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

計画の柱1

市民とともに



次世代につなぐ森を育む

5か年の主な取組

- 300haの樹林地を新規指定
- 指定した樹林地における維持管理の支援
- 森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施



保全した市民の森

計画の柱2

市民が身近に



農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田の継続的な保全を支援
- 様々な農園を開設するなど、農とふれあう機会を提供
- 市民や企業と連携した地産地消の推進



保全した水田

計画の柱3

市民が実感できる



緑や花をつくる

5か年の主な取組

- 地域で愛されている並木を再生
- 地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
- 緑や花による魅力ある空間づくりを推進



魅力ある空間づくり

この3つの計画の柱と合わせ、効果的な広報の展開に取り組みます



森林環境税（国税）と横浜みどり税



Q 国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の推進を図るほか、今後本格化する学校建替事業の財源として活用していきます。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、目的と使いみちが異なります。



● 森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨(目的)	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和 6 年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和 6 年度までは、地方公共団体金融機構の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

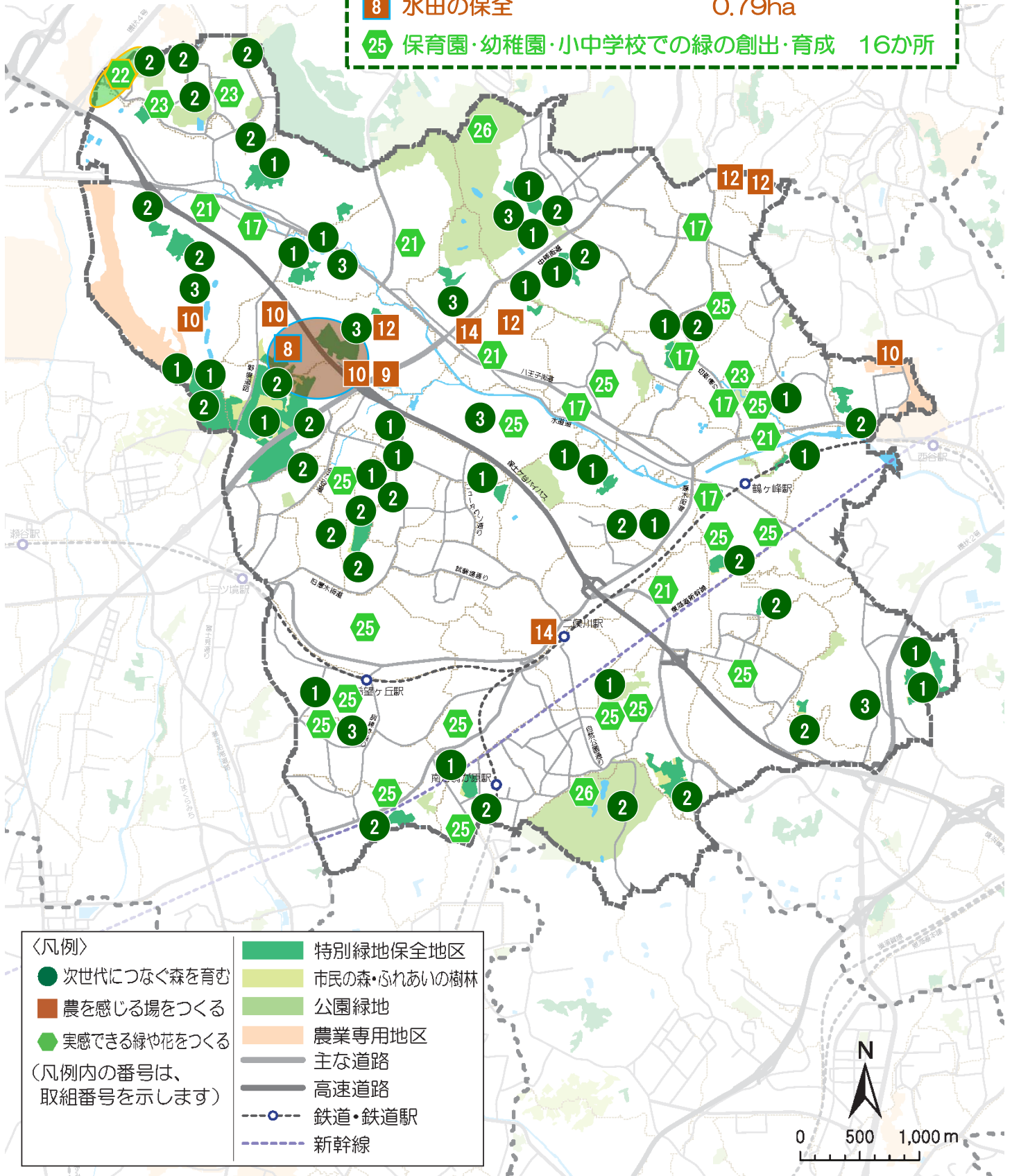
【お問い合わせ】

- 「横浜みどり税」について
 - ▶ 財政局税務課 電話：045-671-2253 FAX：045-641-2775
- 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」について
 - ▶ 環境創造局政策課 電話：045-671-4214 FAX：045-550-4093
- 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」の各事業について
 - ▶ 環境創造局みどりアップ推進課 電話：045-671-2712 FAX：045-224-6627

旭区

主な実績

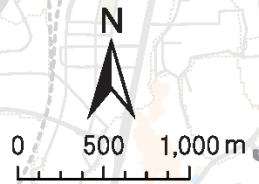
- ① 緑地保全制度による新規指定 3.8ha
- ⑧ 水田の保全 0.79ha
- ②⑤ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 16か所



〈凡例〉

- 次世代につなぐ森を育む
- 農を感じる場をつくる
- ◆ 実感できる緑や花をつくる
- (凡例内の番号は、取組番号を示します)

特別緑地保全地区	市民の森・ふれあいの樹林
公園緑地	農業専用地区
主な道路	高速道路
鉄道・鉄道駅	新幹線



計画の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

緑地保全制度による新規指定

特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

0.5ha 上白根町後谷特別緑地保全地区（指定拡大）

緑地保存地区

0.8ha 今宿町、今宿二丁目、白根二丁目、中希望が丘

源流の森保存地区

2.5ha 今宿一丁目、今川町、上川井町、上白根町、川井本町

市による買取り

特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

4 地区 市沢町特別緑地保全地区、追分特別緑地保全地区、上川井町露木谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区

公園樹林地部

2 地区 四季美台ふれあい公園、南本宿公園

保全した樹林地の整備

9 か所 今川町特別緑地保全地区、上川井町堂谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川井本町特別緑地保全地区、鶴ヶ峰二丁目特別緑地保全地区、中沢二丁目特別緑地保全地区、市沢市民の森、柏町市民の森、白根ふれあいの樹林

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

森の維持管理

維持管理（樹林地）

22 か所 上川井町中田谷特別緑地保全地区、上川井町堀谷特別緑地保全地区、上白根町小池特別緑地保全地区、川島町二ノ沢特別緑地保全地区、善部町特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、上川井市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地、上白根南の森

維持管理（公園）

5 か所 大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

維持管理の助成

11 件 市沢町、今宿南町（2件）、上川井町、上白根町、川井本町、下川井町（3件）、中希望が丘、都岡町

計画の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

水田保全面積

0.79ha 下川井町、矢指町

9 特定農業用施設保全契約の締結

特定農業用施設保全契約の締結

1件 下川井町

10 農景観を良好に維持する活動の支援

まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持

21.3ha 上川井農業専用地区協議会、西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）

農地縁辺部への植栽

1件 都岡地区恵みの里運営協議会

土砂流出防止対策

1件 下川井農地整備組合

周辺環境に配慮した活動への支援

牧草等による環境対策

0.65ha 上白根町、川井本町、下川井町（2か所）

たい肥化設備等の支援

2件 市沢町、下川井町

12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

様々なニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園

0.07ha 今宿西町

市民農園

0.13ha 下川井町、白根町（2か所）

14 地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所

1件 今宿西町

青空市・マルシェ等

1件 横浜農協二俣川直売所

計画の柱 3 市民が実感できる緑や花をつくる

17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

緑の創出

3 箇所 旭台中央公園、帷子川親水護岸、ふるさと尾根道緑道

緑の維持管理

3 箇所 旭区庁舎、旭図書館、旭土木事務所

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

良好な維持管理

今宿南郵便局通り、ニュータウン通りほか 計 665 本

21 名木古木の保存

名木古木の保存

新規指定

7 本 川井宿町（7 本）

維持管理の助成

8 本 今宿西町（2 本）、上川井町、白根六丁目（3 本）、本宿町（2 本）

22 地域緑のまちづくり

地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結

継続

1 地区 若葉台もみじ自治会周辺地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花を身近に感じる各区の取組

区民利用施設（13 箇所）における花壇整備、区内公園の花壇整備及び花苗支援

地域の花いっぱいにつながる取組

二俣川二丁目第三公園ほか 38 箇所

24 人生記念樹の配布

人生記念樹の配布

305 本

25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出

3 箇所 笹野台小学校、白根小学校、万騎が原中学校

緑の維持管理

13 箇所 柏保育園、左近山保育園、鶴ヶ峯幼稚園、今宿小学校、今宿南小学校、希望ヶ丘小学校、さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、東希望が丘小学校、不動丸小学校、南本宿小学校、南希望が丘中学校

26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

緑花による空間づくりと維持管理

2か所 こども自然公園、里山ガーデン

5 各区の実績
旭区



1

緑地保全制度による新規指定
緑地保存地区（今宿町）



2

森の維持管理
（今宿市民の森）



8

水田の保全
（矢指町）



13

農体験教室の実施
（都岡地区恵みの里）



23

地域の花いっぱいにつながる取組
（鶴ヶ峰公園）



25

保育園での緑の創出・育成
（柏保育園）